

# 地域トピックス

## ◆運動で健やかな生活を(松崎町)

松崎町地域づくり連絡協議会(山口清孝会長)主催の「内臓脂肪撃退教室」が11月7日から全23回の日程で開催されています。

この教室は、ウォーキングやバランスボールなど運動を中心としたプログラムを実践することで、運動不足の解消、運動習慣の定着、体脂肪の減少を目的に行っているものです。

第1回目にはストレッチ体操や体力測定が行われ、参加した受講生は「まずは、楽しみながら続けることが目標です」と話していました。



バランスボールを使った運動に取り組む受講生

## ◆農業がつなぐ交流を10年(宮守町)

宮守川上流生産組合と山形県白鷹町山口地区との交流10周年を記念した合同研修会は11月2日、上宮守地区多目的集会所で行われました。

同組合と山口地区とは平成8年から農業を通じた交流が行われており、この日は山口地区住民30人が宮守町を訪れ、集落営農や地域づくりのあり方などについて意見を交わしました。研修後には、同組合環境部会の会員による手作り料理やつきたての餅などが振る舞われ、和やかな雰囲気の中、未永い交流を誓い合いました。



サンQふる郷市場を視察する白鷹町の皆さん



やまめやひつつみなど郷土料理を前にどぶろくで乾杯

## ◆今年のだぶろくのお味は？

第七回遠野どべつこ祭りは十一月二十五日から遠野ふるさと村で開催されました。村内肝煎りの家で鏡開きなど開会行事の後、祭りがスタート。土淵町の飯豊神楽も披露され、県内外から訪れた大勢の人たちでにぎわいました。

参加者は杯を手に、今年の出来具合を確かめるようにどぶろくを味わっていました。一関市からの観光客は「懐かしさを感じる雰囲気の中でお酒をいただくのは最高です。神楽もすばらしい。郷土料理もおいしいです」と祭りを堪能していました。

同祭りは、一月二十日から三月四日までの毎土日開催されます。



環境にやさしい調理法が紹介されたエコ・クッキング教室

## ◆楽しく・おいしいエコロジー

環境ふれあい展環境フロンティア遠野協議会主催は十月三十一日から五日間、ショッピングセンターとびあで開かれました。会場には、ごみの排出量や収集量の年間推移などのパネル展示や、エコイズコーナー、出前エコショップが開設され、身近に取り組める環境活動を考えました。

「エコ・クッキング教室」では、料理研究家の新井尚美さんが「生ごみにしない料理」をテーマにおからのプチプチコロッケなど六つの料理を紹介。「素材を最大限に生かすことがポイント」などのアドバイスに、参加者は大きくうなずきながら耳を傾けていました。

## ◆市民自慢の作品がずらり

第一回市民芸術祭(同実行委員会主催)は、十月十五日に合同茶会十一月三日から三日間は市民センターなどを会場に総合展示会、舞台合同発表会、菊花展が開催されました。

市民体育館での総合展示会には、二十三団体、三個人が絵画や書道、生け花や盆栽など、日ごろ取り組んでいる力作を出展。感性豊かな作品の数々が、訪れた人たちの目を惹かせていました。

中ホールでの菊花展には、二十二人が菊の花を出品。会場に所狭しと飾られた色鮮やかな菊の美しさに、多くの来場者が目を奪われていました。



丹精込めて育てた菊が会場いっぱい並んだ菊花展

# まちの話題



感性豊かな数々の作品に見入る来場者

## ◆トイレパワーでまちづくり

第一回トイレパワー全国大会は十一月九、十の両日、市民センター大ホールなどで開催されました。

初日は(独)理化学研究所微生物材料開発室長の辨野義巳氏が「うんち」は語る腸の老化」と題し基調講演。人間の体の中で一番病気の多い大腸にいる腸内細菌の構造と機能についてユーモアを交えながらの話に、会場に集まった参加者は熱心に聞き入っていました。

分科会では、専門家も交えて環境配慮型トイレやトイレのUD化によるまちづくりについて話し合われました。最終日は、遠野風の丘などを見学。トイレ問題から観光や環境などを考える二日間でした。



トイレが持つ力を利用して社会的課題を考えた大会

## スポット

### 伝統の技術を後世に

菊池恭二さん(54歳)



本年度の「現代の名工」に松崎町の菊池恭二さんが選ばれました。現代の名工は、厚生労働省がものづくりの伝統を支える優れた技能を持つ人を表彰するもので、本年度は全国から150人、県内では菊池さんを含め2人が選ばれました。

菊池さんは中学卒業後、住宅建築に従事。1973年に宮大工の第一人者西岡常一氏(故人)に師事し、宮大工の技術や知識を養いました。これまで、東京・池上本門寺五重塔や平泉町の毛越寺本堂など、数多くの史跡や重要文化財の新築、復元修理を手掛けてきました。菊池さんは「受賞は師匠や先輩、同僚らに支えてもらったおかげ。今後は、次の世代に職場を与え、技術や技能を伝えていきたい」と話していました。